

古紙再生促進センター『地方自治体紙リサイクル施策調査報告書』

まとめ≡ごみかん運営委員 小野寺 勲

家庭から排出される古紙の回収状況や回収促進の取り組みなどについて取りまとめ、地方自治体の施策検討に資することを目的に、全国の自治体を対象として実施したアンケート調査の結果。郵送法にて毎年度実施。年度ごとに調査内容を変えているこれまでの調査から、古紙の回収促進に関わる調査項目をピックアップし、かつ複数年度にまたがる調査項目については経年比較を行いました。

■古紙の回収方法 (％)

	2010年	2017年	2021年
行政回収	76.7	83.7	85.7
集団回収	61.3	64.9	64.9
拠点回収	22.4	25.4	27.5
中間処理施設で選別	5.0	4.1	3.3
その他	5.6	1.5	2.3
n	1,283	1,301	1,155

※古紙を回収している自治体の場合

■雑がみの排出ルール (％)

	2011年	2017年
ひもで縛って排出する	54.5	77.2
雑誌に挟んで排出する	39.3	33.3
指定袋ではない紙袋に入れて排出する	5.3	43.0
指定袋（紙袋）に入れて排出する	2.5	2.9
指定袋ではないポリ袋に入れて排出する	6.5	10.7
指定袋（ポリ袋）に入れて排出する	31.2	6.3
段ボールに挟んで排出する	4.8	-
その他	6.6	7.3
無回答	14.8	0.7
n	881	895

■雑がみの分別回収の課題 (％)

	2011年
どの紙が雑がみに該当するか住民に説明しにくい	57.0
製紙原料以外のものが混入しやすいため品質が低い	19.4
周知徹底が難しくごみとして排出されることが多い	61.5
雑がみとして回収したあと雑誌等に混ざっている	5.1
郵便物の宛名など個人情報の記載の取り扱いについて問い合わせが多い	7.6
特に課題はない	10.3
その他	3.3
無回答	7.9
n	881

■家庭系可燃ごみに含まれる紙類の平均割合 (湿ベース) (％)

	2014年	2021年
紙類の割合	31.7 (n=258)	29.7 (n=100)
うち資源化できる紙の割合	13.7 (n=135)	12.7 (n=100)

■古紙の分別排出の啓発・促進活動 (％)

	2017年	2021年
冊子やチラシなどを配布している	86.5	84.9
H Pに古紙の排出ルール等を掲載	74.3	82.1
アプリやWebコンテンツを利用している	13.1	27.3
講習会や環境イベントを行っている	32.3	25.1
施設見学会（焼却工場等）を行っている	18.2	12.8
古紙排出時に直接指導している	10.1	9.0
上記の活動は行っていない	-	1.4
無回答	1.1	0.2
n	1,160	1,001

■家庭からの古紙回収の課題 (％)

	2009年	2017年
可燃ごみの中の紙の量が多い	49.7	50.6
回収量が少ない・増加しない	21.4	34.0
集団回収が広がらない・減少している	13.4	19.0
古紙の中に混入する異物が多い	14.0	9.8
行政による回収・分別コストが大きい	7.7	8.5
広報・啓発などの予算が確保しにくい	3.9	4.4
古紙価格が下がっている	43.1	-
域内の古紙回収の全容が把握できない	6.3	-
古紙の持ち去り問題が改善されない	-	15.9
とくに課題はない	15.6	20.1
その他	4.5	5.4
無回答	2.4	1.3
n	1,247	1,301